

# 人種差別とアメリカ ——多様性に秘められた白人国家の姿——

クラス  
コード

33A02

曜日時限 水曜13:35~15:05

受講料 11,000円

定員 30名

単位 1単位

**概要** アメリカはイギリスを礎にした国家です。このアングロ（イギリス系）白人の優越意識はいまに至ってもあまり変わりません。未開の西部を開拓したとき、立ちどころ先住民は絶滅の淵に追いやられました。工業の発展のために導入されたイタリアやポーランドからの別種の白人たちは2級市民に、そして同じころ太平洋から入ってきたアジア系移民はさらなる下層民族として扱われます。なにより、奴隷として強制移住させられた黒人種の経験は、この国が国是として掲げる民主主義の価値を曇らせます。授業では、移民や黒人の経験をたどり人種問題に焦点をあて、「差別」について考えます。

**講師** 山本 英政

獨協大学教授 専門／アメリカ移民史、戦後史  
著書に『ハワイの日本人移民』、『米兵犯罪と日米密約』（明石書店）がある

**テキスト** プリントを配付します

**内容** 5月15日～6月12日（全5回）

- ① 5月15日 多様な白人の統合と分裂
- ② 5月22日 文明か野蛮か：西部開拓と人種論
- ③ 5月29日 黒人奴隷の経験
- ④ 6月5日 アジア系移民の経験
- ⑤ 6月12日 どこへ行くのか、アメリカ ——トランプ的なるこの国の本質——